

「ふしぎ!」をみつけ感性を育む

こども

環境教育のてびき





はじめに

幼児期の子どもたちの毎日は、驚きと感動にあふれています。

子どもたちは、身の回りの不思議なことから、大いなる好奇心をもって取り組もうとします。様々な体験を通して、感覚を発達させ、感性を豊かにし、物事について理解しようとし、自ら気づき、考える力を育てていきます。

この大切な時期に、自然とのふれあいを多く体験することによって、子どもたちは、豊かな自然観を持ち、自分を取りまく環境について深く考える人間に成長していきます。

このパンフレットには、子どもとの遊びや接し方のヒント、言葉かけの注意点などをまとめてあります。子どもたちのすぐそばにいる大人の方に読んでいただき、ご活用いただければ幸いです。



もくじ

🌿 環境教育(環境学習)のイメージ ～環境教育ってなに?～	3
🌿 環境教育～幼児期の取組み～	4
🌿 日常生活の中で～身近な庭など～	6
🌿 自然の中で～公園・森・山～	8
🌿 自然の中で～海～	10
🌿 自然の中で～川～	12
🌿 家庭や園で挑戦!!	14

環境教育(環境学習)のイメージ

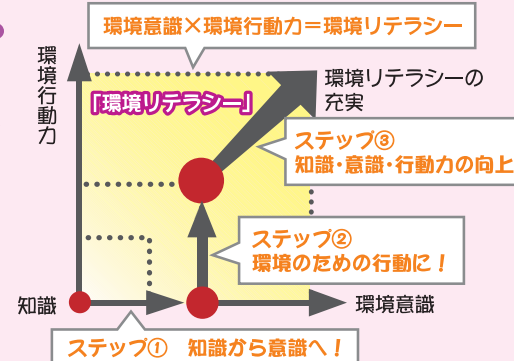
～環境教育ってなに?～

環境教育は、人間の一生を通じ、あらゆる場所で、さまざまな側面からのアプローチ(教育・学習・活動など)により、環境について考え、行動できる「人」を育てることです。



『環境リテラシー』とは...

持続可能な社会をつくるために必要な「環境にかかわる人間の資質や能力」のこと



環境教育

～幼児期の取組み～

幼い時期こそ育みたいものとはどんなものでしょうか。感覚を十分に使った自然とのふれあい体験や楽しい活動を通じて、いろいろな物の見方・考え方を学び、「つながり」を意識することです。そのために体験と気づきをつなぐ手助けをしてあげましょう。子どもたちの遊びや活動を大人が楽しむことも大切です。

日々の生活の中で (自然に対する)『感性』を育てる

①感性を育てるために「五感」を使った活動を取り入れましょう。

「五感」とは…

み **る**…色・形・大きさ・模様・動きなどをたずねてみましょう。

き **く**…音を話題にしましょう。「どんな音が聞えるかな…」

さわ **る**…皮膚の感覚・温度・湿度など感じたことを
感じる 伝えましょう。

におい…子どもといっしょにかいてみましょう。
をか **く**

味わ **う**…なめる・かむ・食感・味を確かめてみましょう。
(食べられるものに限る)



②身近な自然を大いに利用しましょう。

庭・公園・土手・川原・海岸・お散歩コースにも子どもたちが目を輝かせる自然がいっぱいあります。

③日々の活動を少しだけ広げましょう。

子どもたちの「五感」を刺激するように、日常生活、遊び、活動を少し工夫することから始めましょう。

五感を研ぎ澄ます



感性を育む

コミュニケーションを通じて 『気づき』をうながす

①子どもは、主に大人との会話の中で、知識を増やし考えをまとめていきます。学びの機会をたくさんつくりましょう。

😊 今日のお散歩はどうだった？ どんな虫がいたの？

②言葉のやり取りや体を使っての表現を意図的に増やしてあげることで、コミュニケーション能力を高めてあげましょう。

😊 “カエル”はどんなふうにジャンプするの？

😊 みんなで“どんぐり”になってころがってみよう！

③共感的なあいづちや言葉だけでなく、考える機会(チャンス)を与えるような問いかけも入れましょう。

😊 この“実”は、どんな動物が食べるのかな～？



『つながり』に気づく活動を積み重ねる



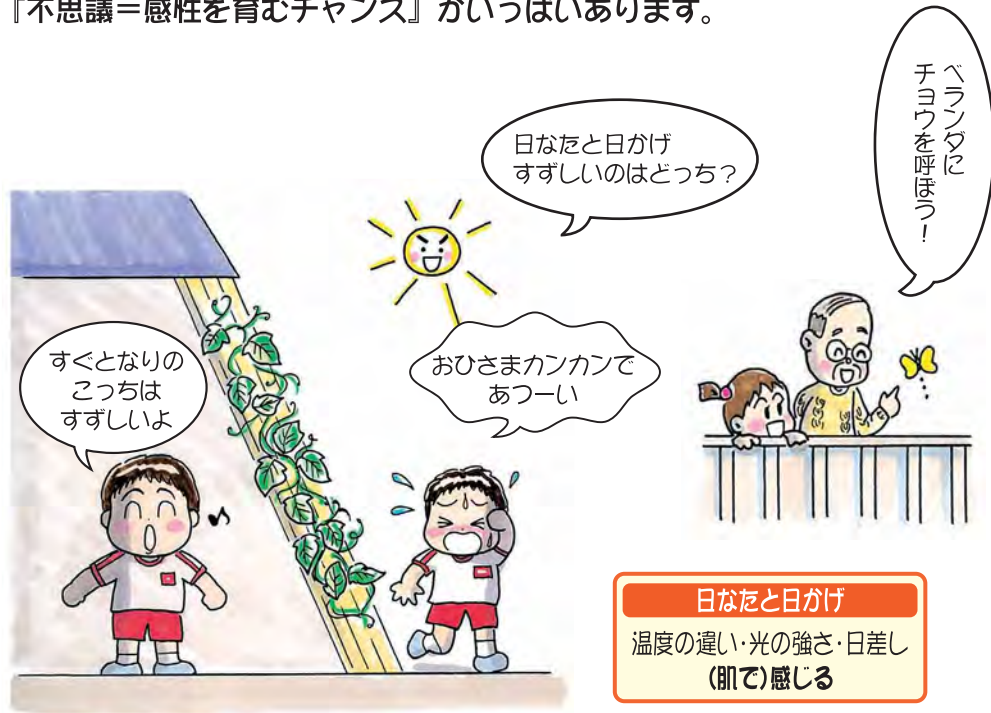
①人と人とのつながり、人と自然とのつながり、自然と自然とのつながり、自然と社会とのつながり、その中で生きている私たちは…この“つながり”を気づかせるための“ヒント”を与えましょう。

②“つながり”を意識する取り組みや活動を、ある程度の長い期間の中で積み重ねていくことが大切です。

日常生活の中で

～身近な庭など～

子どもたちの身の回りには
『不思議＝感性を育むチャンス』がいっぱいあります。



すぐとなりの
こっちは
すずしいよ

日なたと日かげ
すずしいのはどっち？

おひさまカンカンで
あつーい

ベランダに
チョウを呼ぼう！



日なたと日かげ
温度の違い・光の強さ・日差し
(肌で)感じる



アリさんか
お話してるよ

なに話してるのかな？

アリは行列
つくとつと
行くのかな？

アリさんか
みんなと同じように
おしゃべりしたりして
生きているのね

アリの行列
動き・行列の行方
みる



虫もキャベツ好きだね！
みんなといっしょだね！



この木の皮 そつちと
ぜんぜんちがう！

ザラザラ・
ほこほこで
あつたがいよー

木の皮(はだ)くらべ
比較・温度・質感・色
みる・さわる・においをかぐ



畑のこはんに
なるのね！

堆肥づくりと野菜づくり
つながり・変化
みる・においをかぐ・野菜を味わう



きたーっ！

虫が集まる仕掛
多様性・変化
みる・きく・さわる

★キャベツ…モンシロチョウ
★かんきつ系(みかんなど)…アゲハチョウ
★地・水…トンボ



土と砂、どっちが
よく水が
しみこむかなー？

お水がすく
なくなるよー

土と砂
比較・粒の大きさ
みる・さわる



どうしてこっちは
草がはえているのに
こっちははえないのかな？

「みる」ことも、目的や意識を持つことにより、目の感覚が養われます。
「見る」…ちょっと目にふれる。
「視る」…気をつけてよくみる。見たものを意味あるものとして認識・理解する。
「観る」…目的を持って意識的にみる。心で感じる。モノの本質を見抜く。(洞察力)

「きく」も、単なる音(信号)としてではなく、耳をすまして注意深く「聞く」、さらに、目的意識を持ち、意味あるものとして認識・理解するように「聴く」ことが大切です。

自然の中で

～公園・森・山～

遠足やお散歩などの園外活動で試してみてください。(5分だけでもOK)
子どもたちは目を輝かせて取り組みます。

注意事項

ハチやケムシなどには近づかないようにしましょう。
屋外の活動では、長そで・長ズボン・帽子の着用が安全です。



木の葉くらべ

多様性・比較・観察
みる・さわる・
においをかく・味わう

幹の太さしらべ

比較
さわる・みる・感じる

どのくらい
大きいのかな?

みんなで
手をつないで
みよう!

どんぐりコンテスト

多様性・比較・観察
みる・さわる

一番おとつちよさんの
どんぐり たれが
みつかるのかな?

こんなところに
根っこ!

せんせー
みつけたー!

落ち葉の下のしめつた
土の中にはいろんな
虫がいるね!

こなこなの
葉っぱも
あるよー

さがすぞー!

葉っぱの下の生き物探し

多様性・変化・動き
みる・においをかく

うわー
てっかいミミズ!

宝さがし(みつけっこ)

赤いもの、長いもの、ちくちくするもの、
いいにおいのするもの…
“特徴づけ”をすると「五感」をフルに
使った活動ができます。

どんな音が
きこえるかな?

これはくさーい!

目を閉じて、
耳をすまして
ごらん!

虫さんが食べた
葉っぱは
おいしいのかなー?

石の間に
なにがいるかも

鳥の声、風の音、
木のゆれる音が
きこえるよ!

音いくつ

比較
きく

自然の中で

～海～

海は大自然そのもの。潮風にあたりながら、地球の大きさを子どもたちといっしょに感じてみてください。

注意すること

波打ちぎわは、波の力が強く、急に深くなることもあります。絶対に子どもから目をはなさないようにしましょう。また、夏でなくても日差しが強いときがあります。帽子をかぶるなど、日焼けや脱水症状に気をつけましょう。

波うちぎわ

水の動き・風・足元の砂(小石)
感じる・きく・みる・
味わう・においをかく

ザブンザブン
いってるね

キレイな
貝がら!

波がきたぞー
にげろー!

おふねに
むこうに

アチチ!

砂あそび・砂の道

温度の違い・湿度の違い・砂・石の違い
肌で感じる・みる・さわる

これは骨かな～?

流木

中はしめっていて
あつかないよー



宝さがし(みつかけこ)

海岸でも宝さがしができます。美しいもの、興味をそえられるものがいっぱいあります。工夫しだいで、ゴミと自然物のちがいを、ゴミの分別ゲームなどもできます。

釣り人・海鳥・貝殻あつめ

生物の多様性
みる・さわる

しょっぱーい!

流れて
いつちやっただよー

自然にかえらないものを
ゴミって言うのよ

大きな山
だぞー

お魚だあ!

まるいガラス!
宝石よ!

ゴミ

自然の中で

～川～

静岡市にはきれいな川がたくさんあります。静岡で育つ子どもたちには、ぜひ川での様々な体験をさせてあげたいものです。山(森)・川・海とのつながりを意識した活動にするとより効果的です。

注意すること

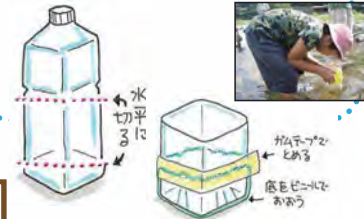
流れる水は、浅くても思わぬ力を受けることがあります。また、川底の泥で足を取られたり、動けなくなったりすることもあります。十分注意しましょう。

流域によってはこんな発見も



川に入るときは濡れてもいい靴をはいてね!

ペットボトルで水中メガネを作ってみよう!



水の中の生き物さがし

多様性・比較
みる・さわる

石の観察・石のタワー

多様性・比較
(形・色・模様・大きさなど)
みる・さわる

注意 足の上には石が落ちないようにして



草の中

多様性・比較
みる・きく・さわる

家庭や園で挑戦!!

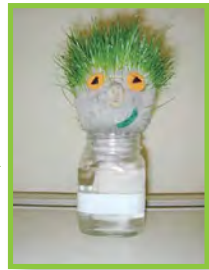
家庭や幼稚園・保育園でできる、楽しいプログラムを紹介します。

シバくん

靴下・芝草の種・培養土・フェルトを使って“シバくん”を作りましょう。ほかの栽培活動に比べて、子どもたちの興味や関心が高く、持続します。日当たりや天気によって置き場所をかえるなど、子どもたちなりの工夫がみられます。



靴下の中に種と土を入れてフェルトで顔をつくる



3～7日で髪の毛が生えてくるよ



ハサミで伸びた芝をカット

プログラムのねらい

- ①芝草の種に触り、よく観察する。他の草花と比べ、種のおおきさや色などの違いをみつける。
- ②水がしみこむ様子や吸い上げられることに興味を抱く。
- ③植物の生長には、水、光、空気などが必要なのに気づく。
- ④根は水に向かって下向きに、芽は光に向かって上向きに生長することを確認する。



シバくんの顔、みんなの顔に似ているね。かっこよく切つてあげてね!

ミミズ・コンポスト

～“ミミちゃん”を飼おう～

ミミズは身近な生き物ですが、一般的にはその習性はあまり知られていません。子どもにも大人にもミステリアスな生き物です。ミミズによる“堆肥づくり”で生ごみのリサイクル!



りんこの皮や甘いものが好きなんだ～
ほくは生ゴミを食べて肥料にしちゃうぞ!

詳しいやり方は、インターネットで「ミミズコンポスト」で検索して調べてね



くだものの皮がどんなふうになるのかな～?

プログラムのねらい

- ①ミミズが食べるものに興味をもつ。
- ②2種類のゴミがあることに気づく。(ミミズが食べて土になるゴミと食べないゴミ)
- ③自分の食生活に興味をもつ。

水の循環を感じよう

パイナップルの実を2cmほど残し頭を切り、鉢に植えます。水をたっぷりとかけたら、温度と湿度を保つためビニール袋で覆います。



実ができるには数年かかるぞ!



ビニールが汗かいてる! 新しい芽が出てきたよ!

プログラムのねらい

パイナップルの栽培を通して、水が気化し、再び液化する様子を観察し、地球上の水循環を感じる。

私たち大人も、子どもたちの素晴らしい
「センス・オブ・ワンダー」
(美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見はる感性)
を大切にしていましましょう。



はっこう しずおかしかんきょうきょく

発行：静岡市環境局

協力：坂田尚子(常葉学園大学教育学部非常勤講師)

田宮 縁(常葉学園大学教育学部講師)

静岡市環境教育推進会議